

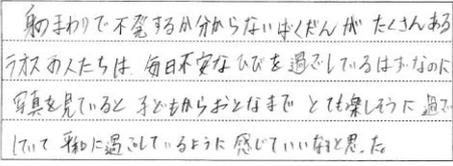
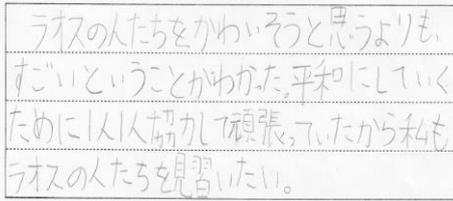
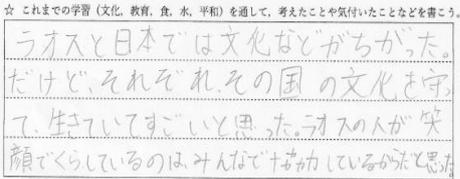
世界はバランスでできている

ねらい： ラオスが抱えている課題は、他人事ではなく、身近なところにもあることに気づき、自分にできる平和づくりを考える。

対象：第6学年

時間：45分

準備するもの：ラオスのもの、SDGs カード

過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (5分)	①ぬいぐるみやスプーンでモラゲージをして、何を表現しているのか 何で作られているのかを考える。	○ラオスの土産を直接手に取り、それが何でできているのか主体的に知ろうとする。 	スプーン ぬいぐるみ
展開 (30分)	②スライドでラオスの現状(不発弾)について知る。  ③戦争の爪後(鹿児島で見つかった不発弾について)について知る 	○戦争の爪痕は、他人事でないことを捉えさせるために、県内で起こった記事を紹介する。 ☆今日の学習を振り返って、感じたことや考えたことを書こう。  ☆今日の学習を振り返って、感じたことや考えたことを書こう。 	
まとめ (10分)	④ふりかえり これまでの学習を振り返り、自分にできることを考える。 	○本時までの学習を振り返りながら、身近なことで自分にできることはないか考えさせる。 ☆これまでの学習(文化、教育、食、水、平和)を通して、考えたことや気付いたことを書こう。 